

錐穴

1 七年という間 ぼくは王様に仕えた小姓

散つた 散つた ユリの花

王女様の姿を見たのは たつたの一度

ちらちらちらと 錐穴通して

一枚 二枚 三枚 散つた

2 王女様を見たのは錐穴通して

たつたの一度 それつきり

3 二人の侍女が ガウンを着せて

十人の侍女が ピンとめて

4 二人の侍女が 靴はかせ

二人の侍女が 靴ひも締めて

5 五人の侍女が 髪くしけずり

王女様を見たのは それつきり

6 首も胸も雪のよう その先は

錐穴から引き離されて それつきり